

特定非営利活動法人ピープルデザイン研究 (所在地：東京都品川区)

事業名

生涯学習の土台をつくる。アクセシブルな図書の普及事業「りんごプロジェクト」

事業の趣旨・目的

- ・ 読書や図書館利用に困難のある人々が、自分の読みやすさを見つけ生涯学習につながるきっかけをつくること
- ・ 多様なニーズに対応し、公平性や公共性の高い情報拠点としての図書館をもっと増やすこと

事業実施体制・連携先

企画・運営：NPO法人ピープルデザイン研究 りんごプロジェクト
連携：横浜市教育委員会、川崎市、渋谷区、点字付き絵本の出版と普及を考える会、(株)丹青社、(株)MUZIKA、(株)フレーベル館、(株)KANADEL 全国学校図書館協議会、学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム、東京都教育庁生涯学習課、愛媛県CIL星空
取組実施：横浜市立小学校（幸ヶ谷、青木、西富岡）横浜市立矢向中学校、八潮市立大瀬小学校、タイパーシティパークin新宿、図書館総合展、平塚市中央図書館、都立日野高校、県立図書館（栃木・埼玉・徳島・福井・宮城）、松戸市「おい図書館」、島根県立大学、筑波大学、放課後等デイサービス「エニタイム」、長野県社会福祉協議会

事業の取組内容

今年度は以下をはじめ、地域社会において生涯学習の場をつくる団体とも活動を共にしながら、障害者の生涯学習の土台づくりを行った。またこの取り組みを通じて福祉や障害について新たな気づきや体験を提供し、共生社会の実現に寄与していく。

■ 体験会の実施

読書バリアフリーの研修・授業、アクセシブルな図書の体験会を19回開催し、のべ3,848人の参加があった（小学校4校、中学校1校、高等学校1校、福祉施設1か所、公共図書館（研修会含む）6か所、展示会/イベント会場6か所）

■ 全国各地へアクセシブルな図書を集めた「りんごの棚」の普及啓発

研修・授業や体験会以外にも、市民団体や大学と連携し、地域を巻き込みながらアクセシブルな図書や読書バリアフリーの啓発につなげた。その結果、全国各地の図書館・学校図書館、公共施設などで「りんごの棚」が普及し、読書や図書館利用に困難を感じる人に情報を届けることができた。

■ 出版社（フレーベル館）との協働で「りんごの棚と読書バリアフリー」全3巻を全国発売

全巻発売前に1巻が発売からわずか4か月売切れ、重版となり大反響となっている。現在、全国の公共図書館や学校図書館からの注文が多く、図書館関係者や教育関係者へ普及啓発することで、バリアフリー図書を本当に必要とする人に届けることに貢献している。

■ 都道府県立図書館への研修の実施

都道府県立図書館からの研修会講師の依頼が増え、読書バリアフリーの理解啓発に取り組むべき公共図書館の職員や学校教員へ研修を実施。図書館の障害者サービスとは障害者だけが対象ではなく、読書や図書館利用に困難のある人へのサービスであることをポイントに行った。

活動の様子



その他



「超福祉の学校」
シンポジウム動画



監修本
「りんごの棚と読書バリアフリー」



りんごPJのHP